



研究報告会と公開授業を行いました

7月15日(木)飯山北高校において、3年目に入った「飯山市中高交流学力向上事業」の平成21年度研究報告会並びに公開授業を行いました。

授業は、1年普通科β1講座 数学I「図形と計量」の単元の第4時「三角比の拡張」の授業を大池裕達教諭と日台邦治教諭のTTで行いました。

当日は、県教育委員会の皆様を来賓としてお迎えし、市内小中学校、高校、飯山市教育委員会などから30名を超える方の参加がありました。

主なご意見は次の通りです。

<授業についてのご意見>

○高校の授業を見る機会は少ないが今まで見た中でもよい授業でした。

いい成果をあげていることを実感しました。

○授業がわかりやすかったと思います。

多くの子が壁を乗り越えようとしていました。

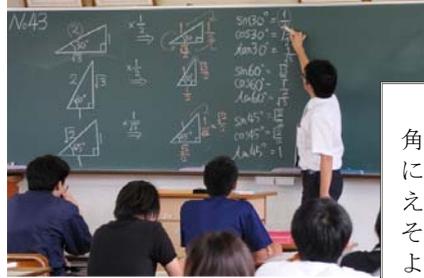
<報告についてのご意見>

○地域全体で組織的に積み重ねていることに敬意を表します。連携の可能性は思った以上にあると感じます。

○小学校で「単位量あたり」「速さ」に子供たちがつまづく傾向があると感じていたが、昨年度量的二重数直線図(D-Lines)を使わせてもらい、よさを感じました。他の単元でも児童から「やり方一緒だ!」と声があがるなど、手ごたえがあったと感じています。

ご来賓の皆様

小口 俊幸 高校教育課管理係主任指導主事
柳澤 厚志 義務教育課主幹指導主事
山崎 裕史 教学指導課高校教育指導係指導主事



大池教諭による鋭角の三角比の復習の後、日台教諭による小中学校で「乗り越えてきた壁」の話があり、それを踏まえて大池教諭による「鈍角」への拡張の説明をするという授業を行いました。

D-Lines (量的二重数直線図: Dual-Dimension Measuring Lines) とは本事業で提案してきている「比・比例」の概念を理解する手助けとなる図・教具です。小学校6年間を通して様々な単元で、利用可能な場面が考えられます。

(D-Linesについての詳細は、活動報告書をご覧ください)

2学期の指導に活かしていただけるよう、今後事務局では、今年度5月実施のプレテストの分析と合わせて、具体的な提案をお届けしたいと考えております。

ぜひご利用ください。

北高チューターを行いました

昨年度に引き続き、中学校の夏休み中の学習会に北高生がチューターとして参加し学習等のサポートをしました。

城南中学校: 8月3日 中学生10名 北高生5名
4日 中学生12名 北高生4名

城北中学校: 8月2日 中学生17名 北高生4名
3日 中学生13名 北高生4名

とそれぞれの日程・参加者で行われました。

城北中学校にて



城南中学校にて



中学生の声

- *よく分からなかったところのやり方を、わかりやすく「もっとこうしたほうがいいのかも」みたいに教えてくれてよかった。
- *理科の分からないところを丁寧に教えてもらってよくわかった。
- *北高の様子を教えてもらえて、進路を考えるきっかけになったと思う。

高校生の声

- *自分では分かっているのにそれを人に分かりやすく教えるのが難しくて苦労した。
- *なるべく全員に話しかけて、質問しやすいようにした。
- *去年は教えてもらうほうで、あんまり自分から質問できなかったから今年は教える方になって「何かわからないことある?」と聞くようにした。